

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの保健Ⅱ		科目コード	18Y490	担当者	光武 きよみ			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの心身の発育・発達、健康を増進するための環境について理解するとともに、疾病と予防法および適切な対応、安全管理について学ぶ						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもの健康増進および心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考え、意見を述べることができる										
2.	子どもの疾病とその予防および適切な対応について具体的に説明できる										
3.	救急時の対応や事故防止、安全管理について具体的に説明できる										
4.	現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について関心を持ち、意見を述べる ことができる					○	◎	◎	◎	○	◎
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（15%） 提出物（15%） 定期試験（70%）					
基本的に、パワーポイント、資料、DVDなどを使用して、講義形式で行う											
準備学修						課題等への対応					
教科書や資料に目を通し、事前・事後学習を週1時間程度行う						提出物は、全て追加修正を行い、本人へ返却する					
授業計画											
第1回	保健活動の計画、活用、記録、自己評価										
第2回	保健活動の個別的対応と集団全体の健康と安全・衛生管理										
第3回	子どもの保健と環境 ①保健における養護と教育の一体性、子どもの健康増進と保育の環境										
第4回	子どもの保健と環境 ②子どもの生活習慣と心身の健康										
第5回	子どもの保健と環境 ③子どもの発達援助と保健活動										
第6回	子どもの疾病と適切な対応 ①体調不良や傷害が発生した場合の対応										
第7回	子どもの疾病と適切な対応 ②感染症の予防と対策										
第8回	子どもの疾病と適切な対応 ③個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（慢性疾患、アレルギー等）										
第9回	子どもの疾病と適切な対応 ④乳幼児への適切な対応（乳幼児の健康状態観察の要点と対応等）										
第10回	子どもの疾病と適切な対応 ⑤障がいのある子どもへの適切な対応										
第11回	事故防止および健康安全管理 ①事故防止および健康安全管理に関する組織的取り組み										
第12回	事故防止および健康安全管理 ②保育における看護と応急処置										
第13回	事故防止および健康安全管理 ③災害への備えと危機管理										
第14回	心とからだの健康問題と地域保健活動～子どもの養育環境と心の健康問題										
第15回	（現在までの学習内容のポイント、試験対策）まとめ										
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし				受講生へのメッセージ	病気や事故、応急処置などを学びます。子どもたちの命を預かる保育の現場で、適切な判断と対応ができるよう積極的に学んでいきましょう					
参考書等	感染症ガイドライン、事故防止ガイドライン、子どもの保健Ⅱなどで資料作成										